



松原市長と表彰された釜下さん(左端)、三浦さん(右から2人目)、久保田さん(右端)

**啓発標語表彰やコンサート
社会を明るくする運動**

第73回社会を明るくする運動の狛江市推進大会とコンサートが7月24日(日)にエコルマホールで4年ぶりに開かれた。

第一部で松原俊雄市長や須田啓文委員長の挨拶の後、中学生を対象に行われた啓発標語優秀作品が披露された。

456点の応募作品の中から選ばれた優秀作品は「あなたから始めてみよう その勇氣」(狛江第二中学校3年釜下千鶴さん)、「見ないふり それはあなたも いじめっ子」(同3年宮野桃花さん)、「忘れずに ネットの奥には 人がいる」(同3年三浦ゆいさん)、

「差し出す手 心の扉を開く鍵」(狛江第三中学校3年深澤柚美子さん)、「寄り添えば 心と心がつながるね」(狛江第四中学校2年久保田蘭菜さん)。松原市長から釜下さんらに賞状が手渡された。

第2部のコンサートには、中学校4校の吹奏楽部の生徒が日頃の練習の成果を披露。集まった保護者などが静かに耳を傾けていた。

**枝豆使いクラフトビール
市内の酒店と農家が協力**

狛江特産品の枝豆を使ったクラフトビール(発泡酒)「新たな狛江の希望」が今年も市内のブルワリーで醸造され、9月初旬から発売される。

酒販売を営む秋元商店専務の秋元慈一さんと、駒井町の農家の松坂論さん、高橋一真さん、高橋庸之さんが「狛江野菜を広める会」を結成、平成24年に狛江産枝豆を使い、醸造を市外に委託した発

泡酒「こまえ〜」を開発した。同会では、第2弾として「生産から醸造まですべて狛江で行う」をコンセプトに令和3年に発売し、大きな反響を呼んだ。枝豆の味と香りを引き出そうと、毎年、醸造方法などに新たな工夫を施しており、「今回もより期待にこたえられる味にしたい」と話している。

問い合わせは☎3480-8931 籠屋秋元商店。

**シルバー健康運動教室
ミニ講話と実技の指導**

狛江市体育協会がシルバー健康運動教室の参加者を募集している。

60歳以上を対象に10月6日(金)から11月17日(金)の毎週金曜日に合わせて6回催す。時間は午前10時~11時で会場は市民総合体育館。狛江市市民総合体育館前館長で日本ウェルネススポーツ大学講師の堀松英紀さんがミニ講話と自宅で簡単にできる軽い運動の実技を教える。

定員は20人(先着順)で参加費は1回500円。

申し込みは1日(金)午前9時から体育協会事務局へ電話(☎3480-6211)で、定員に達し次第終了。

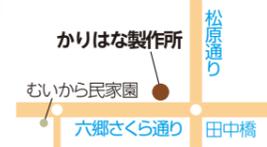
**電動カート80%が「必要」
まちづくり協議会が報告会**

野川まちづくり協議会(栗山正美代表)が昨年11月に東野川地区で行った電動カート試験走行の報告会が8月6日(日)に野川地域センターで行われ、松原俊雄市長や同会会員、市民ら約40人が参加した。

会場では、4日間にわたって実施した走行の様子、試乗した市民のアンケート、地域住民の声が発表され、「買い物や通院にしたい」など80%以上から必要性を求める声が寄せられたという。

同会では今後、協議会メンバーの増加や地域住民への周知を図るなど活動を充実させるとともに、計画の具体化に向けて検討することになっている。

Shop & Service Guide ...27
いらっしゃいませ
かりはな製作所



株式会社かりはな製作所は各種ポンプの設計製造と倉庫業のほか、安全・安心を目的とした製品の開発・製造に力を注ぎ全国的に注目されている。

災害時に自社開発したmizu-Qシリーズは、風呂や川などの水を濾過して飲料水にできる浄水器。このうち、携帯型のmizu-QPLUSは重さ65gと軽く、ペットボトルに取り付けるタイプで、災害時に限らずアウトドアでも利用できるため、年間1万本売れているという。背負子式のmizu-Q500は毎分3ℓ処理できるタイプで、狛江市が採用するなど人気を集めている。また、停電を感知して点灯するLED防災電球や抗菌ド

**細菌も除去する災害用浄水器
ポンプ技術生かし独自製品開発**



自社開発の浄水器 mizu-Qシリーズ
倉庫でフォークリフトを運転する菱花英寿さん

☎3489-5211 中和泉3-28-1、営業時間=午前9時~午後6時。土・日曜日・祝日休み

Start & Challenge
壊れたおもちゃを“治療”する野川おもちゃ病院

壊れたおもちゃを“治療”する野川おもちゃ病院(大畑恵美子代表)が、毎月第1日曜(1月休み)に野川のえんがわこまち(西野川2-31-1)で開院している。

狛江市ビン缶リサイクルセンターで開院している狛江おもちゃ病院がコロナ禍で受付のみとなったため、修理を行う場を設けたいと、同病院の会員が集まって昨年6月に発足。研修を受けたボラン



おもちゃを治療するドクターたち

ティアのドクター8人が交替で受付・修理を行っている。月1回の開院のほか、市内の児童福祉施設のおもちゃも受け入れており、これまでに約300個のおもちゃを修理した。修理の内容は様々で、破

ライシートなども扱っている。

同社は昭和26年に大手ポンプメーカーの下請け工場としてスタート、その後、自社でケミカルポンプ、定量ポンプ、循環濾過システムの設計・製造なども行った。また、昭和60年から倉庫業を始め、府中市や入間市にも倉庫を拡大、企業や個人から様々な荷物を預かり、海外コンテナや国内貨物の荷受けから保管、出荷まですべてコンピューターで管理する物流委託業務に発展させ、現在では同社の主力業務になっている。

4代目社長の菱花英寿さん(41)が経営全般と倉庫・物流サービス部門を担当、防災用品開発は、英寿さんの父で会長の忠彦さん(67)が担当している。忠彦さんは狛江青年会議所理事長だった平成7年の阪神淡路大震災の時、ボランティアとして神戸に出向き、現地で「一杯の水」の大切さを痛感した。この体験をきっかけに、長年培ってきたポンプ製作の技術を生かし、ミクロン単位で不純物や細菌などを濾過する浄水器の開発と製造に着手、災害時浄水器mizu-Q1000を8年に完成させた。その後、mizu-Qシリーズを次々と製品化、現在、浄水量などが異なる5種の浄水器がある。このほか、RO(逆浸透膜)を使った海水・淡水用の浄水器も開発、国際災害医療救護隊装備品になっている。

創業70年を迎えた令和3年に忠彦さんは社長を英寿さんに譲り、現在は国立大学と共同で、工場排水などに対応した重金属系など汚染物質の濾過システムフィルターの研究開発に取り組んでいる。

これらの製品は本社に展示しているが、販売は大手ホームセンターや通信販売などで取り扱っている。

菱花さん親子は「Carry a Dream!!~理想の実現に向けて作る・運ぶ~」をスローガンに「これからも防災に焦点を当てた商品の開発に取り組み、災害時のライフラインに関わる総合メーカーをめざしたい」と話している。

損した部品を3Dプリンターで作ることもあるといい、大畑さんは「おもちゃを捨てる前にぜひ受診してください」と呼びかけている。

同会は市民公益活動事業補助金(スタート補助金)の交付を受けた。病院の開院時間は午前10時~午後4時(受付3時まで)だが、野川のえんがわこまちの開所日にも受け付けている。修理代は無料だが、部品代などの寄付(1個100円)を呼びかけている。

問い合わせはショートメールで☎090-4455-1497大畑さん。

ミュージカル公演とワークショップ

スポット

子ども向けにショーを開いているミュージカル団体「+new Company(プラスニューカンパニー)」(金井麻衣子代表)が10月15日(日)にこまえくぼ1234で、ミュージカルのミニ公演とダンスのワークショップを開催する。

同会は、狛江市を拠点に活動している女優で脚本・演出家の金井さんが「演劇と教育を結びつけよう」と平成22年に結成、東京都や神奈川県などの学校や児童館、福祉施設などを中心に活動している。また、令和2年にミュージカル教室「プラニューキッズ」を開設、子どもたちが舞台上で夢と希望を届けることを目標に市内のスタジオなどで練習している。昨年10月には、こまえくぼ1234でミュージカル体験イベントを開催、狛江駅北口交通広場でパフォーマンスを披露した。

今回のワークショップは午後1時45分と3時30分の2回で、プラニューキッズの小学2年生から高校1年生の8人によるミュージカルレビューショーの鑑賞に続いて、参加者が振付の指導を受ける。対象は未就学児以上で、動きやすい服装で参加。参加費は無料。申し込みを受付中で先着各20人。問い合わせ☎080-1161-1795またはEメールmail@plusnewcompany.com。



昨年のミュージカル体験イベント
写真提供: +new Company